

テーマ；ふるさとに誇りをもち、現実を見つめ、未来を築く心を養う学習

学校名 斜里町立知床ウトロ学校

校長名 幸 村 仁

担当者名 野 田 坂 正 法

1 趣旨

本校は世界遺産知床の入り口に位置する学校である。もともと小中併置校であったが、本年度より義務教育学校として、9年間を一貫した学びと考え、教育活動に邁進している。そこで、これまで社会科や生活科、総合的な学習などで取り組んできた地域学習や自然体験学習などを整理し、9年間を一つの流れとして再構築し、「知床学習」としてスタートした。地域の豊富な自然と地域人材を活用し、郷土の自然を愛し守ろうとする心を育むと共に、外部に向けて発信していくことを目標としている。

2 活動・全体計画

ウトロ地区は知床半島の入り口にある集落であり、住民の多くは観光、宿泊業、漁業、農業に従事している。半島は国立公園でもあったが、世界自然遺産にも指定され、観光客も多い。地元にとって観光客は、なくてはならない存在であるが、自然保護の観点からは様々な問題もある。

知床学習では、身近な自然や産業を調べることを通して、郷土のことを深く知り、郷土愛を育むとともに、地域の課題をつかみ、解決のための方法を考え、発信していくことで、地域の一員として貢献していく。そして、物事を多面的にとらえ、自ら調査・考察し、解決していこうとする子どもを育む。

活動に当たっては、地域の施設や団体、企業等の多大なる協力を得ている。地域人材の活用により、児童生徒は生の声を聞き、実際に体験することで理解を深め、考えるきっかけとなる。

知床学習は、調査・体験し、考え・まとめ、発信していく学習であり、そこからまた新しい活動を発見していく学習を目指している。

各学年の主な取り組み

1年生	身近な動植物
2年生	身近な動植物
3年生	知床の陸の動植物
4年生	知床の海の動植物
5年生	知床の漁業や産業
6年生	知床の観光
7年生	知床の人と自然
8年生	知床と他の国や地域 知床のために私たちが ができること①
9年生	知床と他の国や地域 知床のために私たちが ができること②

3 活動事例

○知床の観光～知床を紹介するパンフレット作り（6年生の取り組み）

知床を観光客に紹介するための方法を考え、実践する学習。

まず、紹介するための手段を調査して決定。そのために地域の自然センター等で取材。方法としてパンフレットを作製することにした。

各自テーマを決め作製。完成したものは、道の駅に置いて観光客に紹介。

作製していく課程で、野生動物と観光客の關係に着目。観光客が野生動物に餌を与えることにより、人里に出て来るようになり、駆除されるといふ事実を呼びかける資料を作製し、発表した。

○知床認識度調査（9年生の取り組み）

世界自然遺産として国内外に知られた知床について、観光客はどれだけのことを認識しているのかを調査。修学旅行にあわせて新千歳空港内にて観光客に知床を紹介するとともに、知床についてどれほど理解されているのかインタビューを行った。

紹介には日本語、英文の2種類のパンフレットを作製し、活用した。質問項目は知床で何をみたいかということだけでなく、森林復活のための百平方メートル運動や、野生動物に餌を与えることの問題についての認識も問うた。

その結果から、今後何を考え、どんなことを発信していくかを考え、新しい活動につなげていく。

4 成果と課題

知床学習により、児童生徒は調べ、考察し、外部に発信していくことができるようになった。地元のことを改めて知り、地元のために何ができるかを考えるようになった。今後は、年間のつながりを再考し、より系統立てた取り組みにして、未来につなげることができる学習にしていくことを考えていく。

また、これまでの取り組みについてしっかり記録を残し、学校の財産として伝え、発展させていくことを目指す。

